

新型コロナウイルスワクチン集団接種を実施中

新型コロナウイルス
 集団接種会場

主な内容	ページ
6月定例会、常任委員会の審査、議員表彰、一般質問概要、質問事項	2
一般質問	3~5
発議、議会日誌、インターネット中継	6
告発に関する処分通知	6
特集「新型コロナウイルス感染症に対応した独自支援施策」	7
審査結果、次回日程、編集後記	8

入場前整理 (会場：市民ふれあいセンター)



予約時間等の確認 (会場：野栄総合支所)



受付での本人確認 (会場：市民ふれあいセンター)



看護師による予診 (会場：市民ふれあいセンター)



新型コロナウイルスワクチン接種 (会場：市民病院)

令和3年度匝瑳市一般会計補正予算など 議案28件、議員発議案3件を可決・承認・同意

6月定例会

令和3年6月定例会は、6月4日に招集され、6月21日までの会期18日間をもって開かれた。
初日に市長から議案10件について、提案理由の説明があった後、議案第3号、議案第5号、議案第8号及び議案第10号を先議し、可決・

同意した。
6月9日は、議案に対する大綱質疑が行われ、その後、各常任委員会に議案を付託した。
9日、10日、11日、14日には、予算決算、総務、文教福祉、産業建設の各常任委員会において、付託された議案の詳細な審査を行った。16日、17日には、議員6人による市政に対する一般質問を行った。

21日の最終日には、付託議案などに対する各常任委員長の審査報告があり、採決の結果、議案はすべて承認・可決、提出された請願2件を採択した。
また、市長から追加提案された議案第11号から議案第28号に可決・同意した。
その後、議員から提出された発議案3件いずれも可決し、閉会した。

常任委員会の審査

※議案名等は、8ページ
の審議結果を参照

予算決算常任委員会

6月9日開催、委員17名全員出席
付託された事件は、議案3件

◆審査の経過及び結果

・議案第1号

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）給付事業に関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり承認するものと決した。

・議案第4号

コミュニティ助成事業補助金、地域防災組織育成助成事業補助金、飼料用米・加工用米等流通加速化事業補助金、「環境にやさしい農業」推進事業補助金、強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

総務常任委員会

6月10日開催、委員4名出席
付託された事件は、議案2件

◆審査の経過及び結果

・議案第2号

匝瑳市税条例等の一部を改正する条例の改正概要などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり承認するものと決した。

・議案第7号

匝瑳市固定資産評価審査委員会条例の改正理由などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

文教福祉常任委員会

6月11日開催、委員6名全員出席
付託された事件は、請願2件

◆審査の経過及び結果

・請願第1号

義務教育費の国庫負担や自治体負担などに関する意見があり、賛成全員で採択すべきものと決した。

・請願第2号

学校施設整備や通学路の安全対策などに関する意見があり、賛成全員で採択すべきものと決した。

産業建設常任委員会

6月14日開催、委員5名全員出席
付託された事件は、議案1件

◆審査の経過及び結果

・議案第9号

調停に係る費用などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

議員表彰



6月定例会において、永年在職議員に対する表彰が披露されました。この表彰は、全国市議会議長会から永年にわたり議員として市政の発展につくされた功績により表彰されるものです。
山崎等議員に一般表彰（市議會議員在職10年以上）が伝達されました。

6月定例会

市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたずめます。

6月定例会では6名の議員が質問

問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。
なお、質問・答弁の詳細は「匝瑳市議会議事録」をご覧ください。

一般質問の質問項目

宮内 康幸 議員

- 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 新しいごみ処理について
- 職員の資質向上について
- 移住定住に対する支援の充実について
- 防災減災の取り組みについて
- 都察 広一 議員
- 危機管理・防災力の強化について
- アフターコロナを見据えたまちづくりについて
- 武漢コロナウイルスへの対応について
- ごみ処理について

林 明敏 議員

- 人口増対策について
- 地域振興について
- 再生可能エネルギー活用について
- 都市計画マスタープランについて
- 聖火リレーについて
- 中国新型コロナウイルス対策について
- 高齢者福祉について
- 公共施設の利用について

武田 光由 議員

- 家畜伝染病について
- 家畜保健衛生所について
- 稲作について
- 健康事業について
- 若者支援について
- HSPについて
- 繊細な児童への配慮について
- 不登校対策について
- 高齢者支援について

田村 明美 議員

- 市の新型コロナウイルス対策について
- 市民病院について
- 匝瑳市農業の現状と展望について
- 児童生徒のリモート学習について
- パークゴルフそらさについて
- 市ホームページについて

荻谷 進一 議員

- 本年度の財政について
- 次年度の財政について
- 市民病院について
- 広域ごみ処理施設について
- 匝瑳市ほか二町環境衛生組合ごみ処理施設について

ワクチン接種

問 予約が取りづらいなどの課題も踏まえ、今後の予約方法の見直しなど対策について伺う。

答 「市長」 現在65歳以上の方に対して7月末までの接種完了に向けて全庁体制で取り組んでいる。今後は電話やファックスによる予約だけでなく、インターネットでも予約を受け付けるなどスムーズに申込みいただけるよう努める。

問 市民への情報提供として、接種の進捗状況がわかるように公表しただけでないか。

答 「健康管理課長」 市民の皆様が安心できる情報であると考え、公表できるように内容を検討する。

問 安全性の取り組みとして、全国でのミス事例は情報共有できているか。また対策は取れているか。

答 「健康管理課長」 全国で発生した問題については、本市においてもその都度確認を行い、問題や事故が発生しないよう接種を進めている。

新しいゴミ処理

問 資源ごみとして回収していたプラ

スチックごみを、普通ごみとして回収し焼却することについて、国の方針と逆行しているように感じ、市民の皆様が理解が進んでいないのではないかと。

答 「環境生活課長」 国では今後プラスチック類の分別収集を推進する方針が示されている。一方で現在は焼却して発生するエネルギーを熱や蒸気として回収するサーマルリサイクルも、東総地区広域市町村圏事務組合では、二酸化炭素発生量などの環境負荷と経済性を考慮した結果、発生する熱エネルギーにより発電し、電力を施設内で使用するとともに余剰電力を売電することとした。引き続き市民の皆様丁寧に説明していく。

問 直接搬入のごみ手数料について、コロナ禍の影響も重なり、特に事業系のごみ手数料は二重の負担増になっているのではないかと。

答 「環境生活課長」 決定された処理手数料については、匝瑳市、旭市、銚子市の3市内の市民、事業所の皆様のごみの排出量に応じて公平にご負担いただくものであり、ご理解いただきたい。

防災・減災

問 慢性的に発生する中央地区の冠水対策について伺う。

答 「建設課長」 既存排水路の堆積物撤去や破損部の補修を行うとともに、改修工事の際には排水勾配の検討や流量断面の確保等により排水能力の向上に努めている。



都祭広一議員
(創 真の会)

防災

問 行政における防災力の強化についてどう考えるか。

答 「市長」 公助としての行政の防災力強化を図るためには、防災についての知識を備えた職員の育成が重要である。災害対応の中心的役割を担う防災担当職員については、防災士資格の取得を進めている。

問 危機管理・防災力の強化のため、退職自衛官を防災・危機管理監に任用すべきではないか。

答 「総務課長」 令和3年4月1日現在、県内では27市町(50%)が退職自衛官を防災・危機管理監等に任用している。市としては、任用については引き続き調査研究してまいりたい。

まちづくり

問 歴史に特化した我が匝瑳市に多数残る、中世の城郭遺構を活用した歴史遺産ツーリズムの構築を進め、新たな御城印の発行を求める。

答 「市長」 散歩のまち匝瑳を推進するため、市内の史跡等をおすすめ散歩ルートに組み入れた。御城印については、新たな観光資源として、観光協会と連携した取り組みを進めていく。

問 空き家対策を進め、お試し住宅や移住支援住宅など、具体的な活用を進めるべき時期である。持ち主の意向確認はされているのか。

答 「都市整備課長」 空き家所有者へのアンケートでは、売却または賃貸を希望する回答が48件であった。

問 空き家バンク登録数と、移住定住への効果について伺う。

答 「企画課長」 平成24年から現在までに、43件の物件登録があり、18件の売買等の成約にて25名の方が、本市へ移住定住されている。

武漢ウイルス

問 高齢者施設や、学校などでのクラスター対策のため、ワクチン接種の優先順位について市の独自判断が必要ではないか。

答 「健康管理課長」 対象施設においては接種希望調査を行い、優先的に接種していきたい。また、学校の先生方については教育委員会と調整させていただきたい。

環境

問 事業系ごみの処理手数料が、実質4倍の値上げとなり、市内事業者から負担感が示されており、支援策を講ずるべきではないか。また、共同生活援助のある施設での、おむつ処理について事業系ごみではなく、家庭ごみとして検討いただけないか。

答 「環境生活課長」 処理料の直接的な補填ではなく、ごみの減量化につながる事業者の負担軽減という観点で、おむつ処理と併せ制度の調査研究をしてまいりたい。



宮内康幸議員
(創世会)

企画

問 県は空港周辺9市町を一体とした国家戦略特区の指定の提案を行った。匝瑳市も空港周辺自治体に入る努力をしてはどうか。

答 「市長」本市を対象地域に加えていただけよう、引き続き、県及び関係機関等に働きかけをしていきたい。

問 空港周辺自治体に入るため、成田国際空港株式会社に直訴したと聞いたが、何回くらい、どのような形でお願ひに行ったのか。

答 「企画課長」平成23年9月に、市長が伺い要望している。

健康福祉

問 公共施設の利用料について、今まで利用していたグラウンドゴルフ、少年野球等の施設利用料が上がると聞いているが、健康増進、介護予防、児童の健全育成のため、利用料を変更すべきではないと考えるが。

答 「市長」減免基準の不均衡を解消するため見直しを行った。ご理解をお願いしたい。

「生涯学習課長」さざんか広場におけるグラウンドゴルフの利用については、前と同じく免除となる。



林明敏議員
(市民クラブ)

産業

問 冬に鳥インフルエンザが発生するかもわからない。予防対策の強化について、市長の決意と意見を伺う。

答 「市長」条例にあった形で営業をしてみたいと願うところである。

問 匝瑳市松山、山武市の施設において殺処分した鳥の焼却に協力してくれただが、銚子市長は新しい3市の焼却場は、地元の了承と風評被害対策をしないと、焼却はできないと新聞報道されたが、副管理者としての意見を伺う。

答 「市長」3市長で十分検討して対処していきたい。

問 家畜保健衛生所について、私は、県施設が来ることは基本的には賛成の立場である。県に対して、関係者及び地元住民に対する懇切丁寧な説明を、また、広域的な説明を行うよう、伝えてほしい。

また、アクセス道路の整備、津波避難タワーの役目や台風等の時、停電対応のできる避難施設となること、小・中学生の施設見学の実施、産業祭的なイベントの開催などを県に申し入れていただきたい。

家畜伝染病についての質問で申し上げたが、検体焼却を別の施設で行うことも要望する。

また、事業の状況についても伺う。

答 「産業振興課長」要望については、県に伝える。

今年度の事業は実施設計、解体設計、地質調査が計画されており、事業費は1億1,879万8,000円の予算措置がされている。



武田光由議員
(公明党)

子育て支援

問 乳児の9か月から10か月健診の導入について伺う。

答 「市長」本市では、対象の保護者へ案内し、希望者に個別健診を実施している。この時期の健診は、乳児の健康状況や赤ちゃんの特徴に合わせた保護者の関わり方を学ぶ機会としても重要であると考えている。

現在、妊娠の届出時と4か月健診時に周知を行っているが、今後はより多くの人に受けていただけるよう努めていく。

福祉（若者支援）

問 ヤングケアラーについて、本市の現状に対する把握及び対応状況を伺う。

答 「市長」匝瑳市要保護児童対策地域協議会（以下「協議会」という。）において、ヤングケアラーをはじめとする要保護児童ケースについて協議を行っている。

ヤングケアラーは、福祉、介護、医療、教育等といった様々な分野が連携し、早期に発見することが重要であることから、協議会から関係機関に、情報提供による早期発見、早期支援及び見守りをお願いしているところである。

今後も引き続き、関係機関との連携を強化していきたい。

教育

問 学校として、HSC（※）への配慮について伺う。

※ HSC (Highly Sensitive Child) とは、非常に感受性が強く、繊細な気質を持った子どもを意味する心理学上の概念。

答 「教育長」毎年、次年度の就学に向け市内全ての幼稚園、保育所・園こども園、小・中・高等学校へ特別支援教育コーディネーターを伴って施設訪問を行い、特別な支援が必要な幼児、児童生徒との日々の関わり方などについて、専門的な見地から意見を伺う機会を設けている。

特に、就学前の幼児に関しては、関係課や関係機関と連携し、小学校入学に向けた就学相談を行っている。入学後も、特別な支援を要する児童生徒個々の具体的な対応や現状等について、職員の間で共通理解を図っている。

問 ICTを活用した不登校児童生徒への学習支援について伺う。

答 「教育長」プログラミング教育による情報活用能力の育成や、学習や行動の記録を蓄積し振り返りに活用していきたい。

また、児童生徒の習熟度に合わせた学習支援ソフトが導入されており、より意欲を高められると考えている。今後、さらに工夫、改善をしていきたい。

産業

問 1年半に及びコロナ禍の下で、街の店舗のシャッターがさらに増えている。事業所、店舗の営業経営実態調査を行い、実態にかみ合った支援策を打ち出してほしい。

答 「市長」 コロナの影響による市内商工業者の経営等の状況を市商工会に聞き取りした上で、プレミアム付き商品券の増刷発行に取り組むこととした。

病院

問 コロナ禍の市民病院の状況は。「病院事業管理者」 令和2年2月から発熱外来を設置し、通常診療の患者さんと動線を分離して、コロナ感染疑いや陽性の患者さんに対応してきたが、病院施設が感染対策に対応した施設ではないため、患者さんにとっても、職員にとっても、負担が大きい。

答 入院前の患者さん全員にコロナ抗原定量検査（PCR検査と同様の精度）を行い、陰性を確認した上で通常の入院となる。コロナ陽性患者の入院受け入れは、5月末に県から受け入れの準備を進めるよう通知があり、今後も予断を許さない状況にある。今後も新たな感染症が発生することは考えられ、病院の建て替えに当たっては十分検討していかなければならない。市民病院の医師と看護師も、ワクチンの個別接種と集団接種に、週6日参加している。市民病院としての責務であり、市民の期待に応えなければならぬと考える。

を進めるよう通知があり、今後も予断を許さない状況にある。今後も新たな感染症が発生することは考えられ、病院の建て替えに当たっては十分検討していかなければならない。市民病院の医師と看護師も、ワクチンの個別接種と集団接種に、週6日参加している。市民病院としての責務であり、市民の期待に応えなければならぬと考える。

問 市長に伺う。市民病院の施設建て替えの指示は、いつ発せられるのか、建て替えの時期について明確な答弁を求める。2016年に公募型プロポーザルで決定した業者に委託して、病院新改革プランの策定、建て替え整備基本構想と計画を作った。計画では、2018年度に実施設計、2019年度に着工、2022年度開院予定であった。

答 「市長」 施設が老朽化し、早く建設させたいという意向の中で進んでいたが、経営改善を今一度努力した中で、再度検討、決定したら良いだろうという経緯になり、現在に至っている。病院事業の令和2年度決算が前提ではあるが、できるだけ早期に判断したい。

問 多古町長、横芝光町長との話し合いで、町立病院との統合はあり得るのか。

答 「市長」 両町長ともに「統合は難しい。現時点では考えていない。」という意見であった。



荻谷進一議員
(二十一世紀の会)

財政問題

問 市税について、税収が減ったと思うがどれくらい減ったのか。

答 「財務課長」 令和元年度と令和2年度を比較すると、現年分と滞納分を合わせて調定額で約6、130万円減少している。合計の収納率が92・25%前後であることから、概算で6、100万円に92%を掛けた金額が減ったと考えている。

問 不足分はどういう形で賄ったのか、財政調整基金の中でやりくりしたのか。

答 「財政課長」 財政調整基金を活用した。

問 財政調整基金も大分減少していると思うが、今年度使う予定額は。「財政課長」 9億6、000万円の繰入れを予定している。

問 財源がコロナ問題で急激に枯渇している。国からコロナ対策に対する財政補助は出ているものの、市財政はひっ迫していると思うが、いかがか。また、国からの財源をプラスして補助事業などを活用するとの市長答弁があったが、検討しているのか。

答 「財政課長」 財政状況は非常に硬直化していると感じている。補助事業の活用も、通常行政が行う補助事業以外に民間の補助事業等も調査している。

病院問題

問 キャッシュフローについて、色々な形で入ってきた補助金等で経営がなりたっており、実質的な改善による増ではないと思うがどうか。

答 「病院事務局長」 キャッシュフローが増えた大きな要因は補助金といたことが大きかった。

問 建て替えたといっているが、総合トータル的に判断していくべきであると思う。市長が近隣の首長と話をした。多古中央病院や東陽病院と連携はとっているのか。周りの状況を正確に判断しながら行動に移って頂きたい。

答 「病院事務局長」 事務局同士連携の話し合いを行ってきている。引き続き、多古・東陽と情報交換をしていきたい。

環境衛生

問 広域ごみ処理の運営が始まっているが、事業が進むにつれ色々な入札があり、それらの決定事項や内容について議員への報告がないが、どうか。

答 「市長」 決定事項であっても連絡したほうがいい事案もあるため、首長会議を通じて組合事務局と相談をしたいと思う。委託会社に対しては、地元優先でお願いしたいと申し合わせしており、再確認をしていく。



田村明美議員
(日本共産党)

議員から提出され可決した発議

6月定例会で可決した発議は、次のとおりです。

意見書については、内閣総理大臣及び関係大臣へ送付しました。

●義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について

●国における2022年度教育予算拡充に関する意見書について

●匠瑳市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について決議した意見書は次のとおりです。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかにかわからず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

政府の主導する三位一体の改革の中で、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や制度そのものの廃止も検討された経緯がある。

地方財政においても厳しさが増している今、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。また、同制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財

政の安定をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

国における2022年度教育予算拡充に関する意見書

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるといふ重要な使命を負っている。

しかし現在、日本の教育は「いじめ」「不登校」、少年による凶悪犯罪、さらには経済格差から生じる教育格差・子どもの貧困等、さまざまな深刻な問題を抱えている。

また、東日本大震災、原子力発電所の事故、さらに各地で地震や豪雨、台風などの大規模災害が立て続けに発生した。災害からの復興は未だ厳しい状況の中にあると言わざるを得ない。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、さまざまな教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務である。

千葉県及び県内各市町村においても、一人ひとりの個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成を目指していく必要がある。そのためのさまざまな教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状を見れば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠である。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の

整備を一層進める必要がある。

そこで、以下の項目を中心に、2022年度に向けての予算の充実にしていただきたい。

▼災害からの教育復興に係る予算の拡充を十分に図ること

▼少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること

▼保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること

▼現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること

▼子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること

▼老朽化等による危険を伴う校舎の改築や、更衣室、特別教室や体育館への空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること

▼子どもの安全と充実した学習環境を保障するために、財政措置を講じること

▼感染症に伴う臨時休校等の様々な措置により、児童・生徒が健康面・学習面で不安やストレスを感じることにがないうよう財政措置を講じること

など

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命である。これを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

議会日誌

令和3年(2021) 5月▶7月

5月	10日	千葉県北総地区市議会正副議長会定例会
	12日	議会報編集委員会
	19日	八日市場青年会議所・台湾鳳山国際青年商会表敬訪問
	24日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会第38回総会
6月	1日	議会運営委員会
	4日	6月定例会開会、本会議【議案上程】
	9日	本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
	10日	総務常任委員会
	11日	文教福祉常任委員会
	14日	産業建設常任委員会
	16日	本会議【一般質問】、議会改革等特別委員会
7月	17日	本会議【一般質問】、議会報編集委員会
	21日	本会議【採決】、6月定例会閉会
	25日	東総地区広域市町村圏事務組合広域最終処分場竣工式
	9日	東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会
	14日	議会報編集委員会
	16日	東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会
	〃	東総地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会

(以上主なもの)

告発に関し不起訴とする処分通知書を受領

令和2年6月26日付けで阿井伸也元千葉県議会議長及び令和2年8月5日付けで苅谷進一匠瑳市議会議員を地方自治法違反により、それぞれ千葉県地方検察庁に告発した件について、同庁から令和3年7月16日付けで両氏ともに不起訴処分とする通知書が届き、これを受領しました。

匠瑳市議会 インターネット中継をぜひ、ご活用ください!

匠瑳市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。市議会を傍聴に来られない方などは、ぜひご覧ください。



特集

「新型コロナウイルス感染症に対応した独自支援施策」

今回の特集では、6月定例会で可決された、令和3年度一般会計補正予算の中から新型コロナウイルス感染症に対応した独自支援施策について、当該事業の概要・議会における質疑応答・議会後の進捗状況をご紹介します。

PICK UP ①

避難行動要支援者へ防災用品を配布

予算額 432万8千円 担当：総務課

【概要】自然災害発生時に、避難所での感染リスク軽減と避難方法の選択肢を広げることを目的に、避難行動要支援者に自宅や知人宅等での避難時に活用できる防災用品を配布

※避難行動要支援者とは・・・

高齢者・障害者・乳幼児など、特に配慮を要する人のうち、災害が発生した場合やそのおそれがある場合に、自ら避難することが困難で、円滑かつ迅速に避難するために、特に支援を要する人のこと。

問 対象者は何人か。また、配布用品はどのようなものか。

答 対象者は591人（R3.5.17現在）である。
配布用品は、非常用持ち出し袋、マスク、除菌液、携帯用ミニトイレ、防寒防風アルミ素材のシート及び寝袋等を予定している。

【進捗状況】対象者への配布が8月中旬から始まり、9月中旬までに対象者全員に配付される予定。



配布予定の防災用品

PICK UP ②

身体障害者等外出支援車両を購入

予算額 472万6千円 担当：福祉課

【概要】飛沫防止板等の感染予防対策を施した福祉車両を整備し、コロナ禍における身体障害者等の外出を支援

問 高齢者の利用も可能なのか。

答 高齢者の社会参加促進を目的として利用可能である。

【進捗状況】11月中旬までに整備される予定。



福祉車両（イメージイラスト）

PICK UP ③

プレミアム付き商品券を発行

予算額 1,680万円 担当：産業振興課

【概要】市商工会が実施する商品券発行事業に対してプレミアム率の引上げ（10%⇒20%）と販売数の増刷（4,500セット⇒10,000セット）に係る経費の助成を行い、市民生活の支援と地元商工業者の販売促進を図る。

問 昨年の発行時には販売数の5倍の申込があり抽選を行ったということだが、今回1人でも多くの市民が購入できるようにしてもらいたい、いかがか。

答 匠瑛市商工会や匠瑛商業協同組合に要望を伝え、検討していきたい。

【進捗状況】1人2冊、1世帯4冊まで購入できることとし、8月15日まで申込受付が行われた。



匠瑛市プレミアム付き商品券

PICK UP ④

図書除菌機を購入

予算額 136万7千円 担当：八日市場図書館

【概要】書籍の内部まで除菌できる図書除菌機の購入

問 何台購入し、どこに設置するのか。

答 1台購入し、八日市場図書館に設置する。
なお、八日市場図書館で使用していた除菌機については、のさか図書館に移動し活用していく。

【進捗状況】8月上旬に設置された。



八日市場図書館に設置された図書除菌機

令和3年(2021年)6月定例会の審議結果

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	宮内	都祭	増田	椿	平山	林	山崎	行木	武田	小川	石田	浅野	栗田	佐藤	苅谷	田村	石田
				康幸	広一	正義	日出男	政利	明敏	等	光一	光由	博之	加代	勝義	剛一	悟	進一	明美	勝一
1	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度匠議市一般会計補正予算(第1号)について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
2	専決処分の承認を求めることについて(匠議市税条例等の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
3	令和3年度匠議市一般会計補正予算(第2号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議
4	令和3年度匠議市一般会計補正予算(第3号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
5	令和3年度匠議市病院事業会計補正予算(第1号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議
6	令和3年度匠議市病院事業会計補正予算(第2号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
7	匠議市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
8	八日市場ドーム改修工事請負契約の締結について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議
9	調停の成立について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議
10	匠議市教育委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
11	令和3年度匠議市一般会計補正予算(第4号)について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
12	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
13	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
14	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
15	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
16	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
17	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
18	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
19	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
20	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
21	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
22	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
23	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
24	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
25	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
26	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
27	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
28	匠議市農業委員会委員の任命について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願																				
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
2	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
発議案																				
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
2	国における2022年度教育予算拡充に関する意見書について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
3	匠議市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

編集後記

残暑の中にも、時折吹く木々をわたる風に秋の涼しさを感じる季節となりました。議会だよりをご覧いただきまして、ありがとうございます。

緊急事態宣言下、万全な感染防止対策を準備・実施し、7月23日に開幕した東京五輪。世界中のアスリートが一同に会し、スポーツを通じて友情の輪を広げました。大会終了後には、世界の参加選手たちから日本国民や大会関係者に対し感謝の気持ちが多数寄せられたとことです。

コロナ禍という逆境の中、世界中に勇氣と感動を与えてくれた参加選手や大会関係者に最大の感謝と敬意を表する次第であります。

さて、今号では、6月定例会において審議した議案の中からコロナ対策として実施する事業の概要とそれに対する質疑応答を「特集」として掲載しました。

議会だよりを通して、議会が身近に感じられるような、わかりやすい誌面づくりを目指してまいります。

委員長 平山 政利

匠議議会だより編集委員会
委員長：平山 政利 副委員長：宮内 康幸
委員：山崎 等、田村 明美、武田 光由
都祭 広一、石田 勝一

9月定例会の予定 (9月3日~9月22日)

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31 議会運営委員会	9/1	2	3 開会	4
5	6 質疑調整のため休会	7 質疑調整のため休会	8 大綱質疑 予算決算常任委員会	9	10 総務常任委員会	11
12	13 文教福祉常任委員会	14 産業建設常任委員会	15 質問調整のため休会	16 一般質問	17	18
19	20	21 総合調整のため休会	22 閉会	23	24	25

※日程は変更となる場合があります。
日程・傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。